

執筆者一覧

(50音順)

氏名	所属・職位	専門分野
天野 ゆかり	本学社会福祉学科・助教	介護福祉学
石垣 範子	本学看護学科・助教	老年・地域看護学
今福 恵子	本学看護学科・講師	老年・地域看護学
江原 勝幸	本学社会福祉学科・准教授	ソーシャルワーク
海老名 和子	本学歯科衛生学科・講師	歯科衛生学
川島 貴美江	本学社会福祉学科・准教授	社会福祉学
木林 身江子	本学社会福祉学科・講師	介護福祉学
佐々木 隆志	本学社会福祉学科・教授	社会福祉学
鈴木 温子	本学歯科衛生学科・准教授	歯科衛生学
立花 明彦	本学社会福祉学科・准教授	障害者福祉学
庭野 晃子	本学社会福祉学科・助教	家族社会学・保育学
深江 久代	本学看護学科・教授	老年・地域看護学
松平 千佳	本学社会福祉学科・准教授	ホスピタル・プレイ
宮前 典子	本学看護学科・助教	基礎看護学
森 裕樹	NPO 法人ホスピタル・プレイ協会	環境心理学
森野 智子	本学歯科衛生学科・講師	歯科衛生学
山本 智美	本学歯科衛生学科・講師	歯科衛生学
吉田 直樹	本学歯科衛生学科・准教授	歯科医学

業 績 一 覧

各科ごと 50 音順に掲載

(2012 年 1 月～12 月)

一 般 教 育 等

氏 名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月等	備考
内 藤 初 枝	「携帯電話アプリ“からだバランス NAVI”の活用効果に関する検討」	『第 59 回日本栄養改善学会学術総会講演要旨集』 p.287 2012 年 9 月	単 著
	「“妊産婦のための食事バランスガイド”による妊婦への食事指導効果 携帯アプリと母子健康手帳の比較」	『第 53 回日本母性衛生学会総会学術集会抄録集』 p.162 2012 年 11 月	共 著
林 恵 嗣	「体温・体液調節」—「呼吸」関連	『体力科学』 Vol.61 No.1 p.33 2012 年 2 月	単 著
	“Relationships between the extent of apnea-induced bradycardia and the vascular response in the arm and leg during dynamic two-legged knee-extension exercise.”	<i>American Journal of Physiology - Heart and Circulatory Physiology</i> . Vol.302 No.3 p.H864-H871 2012	共 著
	“Effect of menstrual cycle phase on the ventilatory response to rising body temperature during exercise.”	<i>Journal of Applied Physiology</i> . Vol.113 No.2 p.237-245 2012	共 著 (筆頭)
	「I. 呼吸機能 5. 体温と換気充進.」	『身体運動と呼吸・循環機能』（真興交易(株)医学出版部） p.48-53 2012 年 8 月	単 著
	“Effect of hyperthermia-induced hyperventilation on central fatigue during exercise in the heat.”	<i>The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine</i> . Vol.1 No.4 p.671-673 2012	単 著
	「食事内容の違いが暑熱下運動時における呼吸循環反応に及ぼす影響」	『体力科学』 Vol.61 No.6 p.665 2012 年 12 月	共 著 (筆頭)
原 田 茂 治	「大学入学生に対する情報リテラシーのアンケート調査」	『大学 ICT 推進協議会 2012 年度年次大会論文集』（ISSN 2186-7127), G9-5 (2012).	共 著

看護学科

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月等	備考
石垣 範子	「A県 訪問看護事業所における実習環境に関する実態調査」	『第2回せいいい看護学会学術集会プログラム・抄録集』A-19 2012年3月	共著
	「老年看護実習において認知症高齢者を受け持つ学生の困難感に焦点をあてた学びについて」	『USフォーラム2012』 p.115 2012年8月	共著
影山 葉子	「臨地実習における家族看護教育に関する一考察」	『日本看護学教育学会誌』第22巻 p.247 2012年7月	単著
	「看護ケアからみえる家族の代替可能性～可能性／不可能性をめぐる看護師の葛藤に注目して～」	『日本家族看護学会第19回学術集会プログラム抄録集』 p.90 2012年8月	単著
	“ALTERNATIVES TO THE FAMILY IN NURSING CARE: A STUDY OF TENSIONS FACED BY NURSES DEALING WITH POSSIBILITIES AND IMPOSSIBILITIES”	2012 Nagoya-Yonsei University Research Exchange Meeting on Health Sciences p.12-13 2012.11	単著
	公益財団法人トヨタ財団2010年度研究助成プログラム『看護ケアからみえる家族の代替可能性－インタビューデータ集・報告書－』	2012年11月	共著
古賀 震	“A novel molecular marker of Soluble Fibrin Monomer Fibrinogen Complex is quite useful for differential diagnosis of Septic Pneumonias and Simple Pneumonias.”	<i>The 10th China Japan International Symposium on Health Sciences Program and Abstracts</i> :p10-11, 2012.	共著
	「著明な血小板減少が認められ、TTPおよびHPSとの鑑別を要した巨赤芽球性貧血症例の検討」	『第3回九州TTMフォーラム講演』 p.20, 2012.11.10.	共著
	「DICを併発したHELLP症候群の臨床解析」	『第12回TTMフォーラム講演』 p.30, 2012.3.10.	共著
	「凝固系分子マーカーを用いた重症症例の解析」	『第11回TTMフォーラム記録』 p.133-137, 2012.1.27	共著
	「外国人看護師との協働を考える－医師の立場から－」	アジアにおける循環型の看護人材育成を目指して 静岡県立大学創立25周年記念事業 国際看護フォーラム p.17-18, 2012.3.20	共著
長澤 利枝	「精神科医療施設における防災体制の現状と課題」	『第43回日本看護学会抄録集「看護総合」』 2012年8月23日～24日 p.330	共著
	「看護学生の精神的健康状況と影響要因について」	『第32回日本看護科学学会学術集会講演集』 2012年11月30日～12月1日 p.321	共著

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月等	備考
深江久代	「2013年版保健師国家試験問題 解答と解説」	『標準保健師講座』編集室編、医学書院 p.43-59,139-147,173-176 2012.4	共著
	「市町の母子保健事業に関する住民からのクレーム（苦情）の実態と保健師の受け止め」	『保健師ジャーナル』第68巻第5号 p.424-432 2012.5	共著
	「保健師のためのクレーム対応研修の開発と評価（第1報）－研修プログラムの開発－」	『日本公衆衛生雑誌』第59巻第10号 p.515 2012.10	共著
	「保健師のためのクレーム対応研修の開発と評価（第2報）－研修プログラムの評価－」	『日本公衆衛生雑誌』第59巻第10号 p.515 2012.10	共著
	「保健師のためのクレーム対応研修の開発と評価（第3報）－今後組織として必要なこと－」	『日本公衆衛生雑誌』第59巻第10号 p.515 2012.10	共著
前野真由美	「外国人のための無料健康相談と検診会－検診結果報告－」	『外国人のための無料健康相談と検診会－第14回報告集－』 p.7-14 2012年3月	共著
	「外国人のための無料健康相談と検診会－検診会受診者アンケート集計結果－」	『外国人のための無料健康相談と検診会－第14回報告集－』 p.15-17 2012年3月	単著
	「在日外国人の望む病名告知と告知方法」	『第17回日本緩和医療学会学術大会 プログラム・抄録集』 p.449 2012年6月	共著
増田明美	「大都市近郊の通信制高等学校生徒の生活実態と健康との関連」	『思春期学』30(1) p.100-101 2012	共著
	「大都市近郊の通信制高等学校生徒の健康に影響を及ぼす要因の検討」	『第32回日本看護科学学会学術集会』2012年11月30日	共著

歯科衛生学科

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月等	備考
有泉 祐吾	「歯科衛生士養成臨床実習施設における歯科保存処置の現状 - 大学病院と一般歯科診療所での術式・器具・材料・薬剤の比較 -」	『日本歯科保存学雑誌』第55巻第1号 p.75-83 2012年2月	共著
	「フェネストレーションが原因で難治性根尖性歯周炎と診断された症例に対する処置」	『日本歯科保存学雑誌』第55巻第1号 p.60-65 2012年2月	共著
	「歯科衛生士研修事業に関する検討 - 職場復帰対策研修会の内容と形態について -」	『日本歯科医療管理学会雑誌』第46巻第4号 p.216-224, 2012年2月	共著
	「被災者の震災前後における非常持ち出し品準備状況の変化および食事摂取困難者に必要とされる災害時備蓄食品に関する検討」	『日本栄養士会雑誌』第55巻第12号 p.28-38 2012年12月	共著
海老名和子	「臨地実習における口腔内バキューム操作の現状と課題」	『日本歯科衛生学会雑誌』Vol.7 No.1 p.162 2012.8	共著
	「歯科受療時における患者のポジショニング介助法に関する検討」	『日本公衆衛生雑誌』Vol.59 No.10 特別附録 p.449 2012.10	共著
木林美由紀	“The relevance of the Taiwanese’s ability of mastication and dietary behavior, and comparison with Japanese ability of mastication.”	<i>The 2nd Asia-Pacific Conference on Health Promotion and Education</i> P-11-55-075 2012. 5	共著
	「韓国人の小学生の咀嚼力と生活習慣および食行動との関連性」	『小児歯科学雑誌』50(2) p.180 2012年5月	共著
	「日本とモンゴルの子どもの咀嚼力の比較と食行動および生活行動との関連性」	『口腔衛生学会誌』62(2) p.260 2012年5月	単著
	「日本と台湾の小学生の咀嚼力の比較と食行動との関連性」	『日本健康教育学会誌』Vol.20 p.91 2012年7月	共著
	“Correlation with ability of mastication and life action of the Mongolian; Comparison with that of Japanese.”	<i>The International Journal of Oral Health</i> p.118 2012.9	単著
	「日本とアジアの子どもの歯科保健行動、食行動および生活習慣との比較」	『全国学校歯科保健研究大会』p.84 2012年10月	単著
鈴木 温子	「介護老人福祉施設の組織構造の実態と介護職員の評価(2)」	『平成24年度新潟歯学会第1回例会』p.13 2012年7月	単著
	「介護サービス提供者の立場・職種・年齢の違いが利用者の介護リスクに及ぼす影響についての実証的研究」	『USフォーラム2012』p.247 2012年9月	単著

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月等	備考
田中丸治宣	「大学課程における歯科衛生士養成教育の質保証に関する研究 —カリキュラムを中心として—」	『日本歯科医学教育学会雑誌』 Vol.28 No.2 p.67-75 2012年8月	共著
	「大学課程における歯科衛生士養成教育の質保証に関する研究 —臨地・臨床実習施設の現状と指導体制—」	『日本歯科衛生教育学会雑誌』 Vol.3 No.1 p.14-22 2012年11月	共著
中野恵美子	『最新歯科衛生士教本 歯科衛生学総論』	全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版 p.2-5 2012年5月	共著
	「臨地実習における口腔内バキューム操作の現状と課題」	『日本歯科衛生学会雑誌』7巻1号 p.162 2012年8月	共著
	「歯科医院における歯科衛生士の実施する感染予防対策の現状と今後の課題」	『日本歯科衛生学会雑誌』7巻1号 p.190 2012年8月	共著
	「歯科衛生士学生を対象とした HIV 感染症に関する授業の自己評価」	『障害者歯科』33巻3号 p.605 2012年9月	単著
	「歯科受療時における患者のポジショニング介助法に関する検討」	『日本公衆衛生雑誌』59巻10号特別附録 p.449 2012年10月	共著
「歯科衛生過程についての教員の理解度と教育実践上の課題」	『日本歯科衛生教育学会雑誌』3巻1号 p.58 2012年11月	共著	
中村和美	「臨地実習における口腔内バキューム操作の現状と課題」	『日本歯科衛生学会雑誌』Vol.7 No.1 p.162 2012年8月	共著
	「歯科受療時における患者のポジショニング介助法に関する検討」	『日本公衆衛生雑誌』Vol.59 No.10 p.449 2012年10月	共著
	「被災者の震災前後における非常持ち出し品準備状況の変化および食事摂取困難者に必要とされる災害時備蓄食品に関する検討」	『日本栄養士会雑誌』Vol.55 No.12 p.28-38 2012年	共著
藤原愛子	「被災者の震災前後における非常持ち出し品準備状況の変化および食事摂取困難者に必要とされる災害時備蓄食品に関する検討」	『日本栄養士会雑誌』55(12), p.28-38, 2012年.	共著
	「大学課程における歯科衛生士養成教育の質保証に関する研究 —カリキュラムを中心として—」	『日本歯科医学教育学会雑誌』28(2), p.67-75, 2012年.	共著
	「大学課程における歯科衛生士養成教育の質保証に関する研究 —臨地・臨床実習施設の現状と指導体制—」	『日本歯科衛生教育学会雑誌』3(1), p.14-22, 2012年.	共著

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月等	備考
藤原愛子	「小学生の齲蝕予防行動の習慣化を目指した保護者参加型健康教育の効果 第3報 -子どもの行動目標と保護者の意識・行動の変化との関連-」	『健康支援』14(1), p.99, 2012年2月.	共著
	「小学校低学年児童の齲蝕罹患と保護者の歯みがき点検実施状況・理由との関連」	『口腔衛生学会雑誌』62(2), p.184, 2012年4月.	共著
	「未就業歯科衛生士の希望する就業形態に関連のある要因について」	『日本歯科医療管理学会雑誌』47(1), p.42, 2012年6月.	共著
	「小学校低学年児童の齲蝕経験と保護者の歯みがき点検・児童の甘味食品摂取との関連に関する学年別検討」	『日本健康教育学会誌』20, p.110, 2012年7月.	共著
	「幼児の偏食と母親の食教育との関連」	『日本健康教育学会誌』20, p.151, 2012年7月.	共著
	「高校生剣道部員におけるストレス対処能力(SOC)の関連要因」	『日本健康教育学会誌』20, p.118, 2012年7月.	共著
	「地域高齢者におけるストレス対処能力(SOC)と運動能力・日常生活機能・転倒経験との関連」	『日本健康教育学会誌』20, p.126, 2012年7月.	共著
	「小学校高学年児童のストレス対処能力(SOC)に影響を及ぼすソーシャルサポート源と内容」	日本健康教育学会誌』20, p.138, 2012年7月.	共著
	「小学校低学年児童の乳臼歯齲蝕経験と保護者の間食食品摂取との関連」	『日本歯科衛生学会雑誌』7(1), p.103, 2012年8月.	共著
	「小学校低学年児童の齲蝕を予防する保護者の行動」	『日本公衆衛生雑誌』59(10) 特別附録, p.455, 2012年10月.	共著
	「小学校高学年期1年間の運動・スポーツ実施がストレス対処能力(SOC)に及ぼす影響」	『日本公衆衛生雑誌』59(10) 特別附録, p.335, 2012年10月.	共著
「高校生におけるストレス対処能力(SOC)と部活動・心理社会的要因との関連」	『日本公衆衛生雑誌』59(10) 特別附録, p.337, 2012年10月.	共著	
「地域高齢者における運動・スポーツの実施時間、ストレス対処力、精神健康の関連構造」	『日本公衆衛生雑誌』59(10) 特別附録, p.443, 2012年10月.	共著	
「歯科衛生過程についての教員の理解度と教育実践上の課題」	『日本歯科衛生教育学会雑誌』3(1), p.58, 2012年11月.	共著	

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月等	備考
森野智子	「多方位口唇閉鎖力測定における測定部保持法と固定法の相違」	『日本顎口腔機能学会雑誌』（原著論文／査読有）Vol.18(2) p.132-138 2012年2月	共著
	「障害者施設口腔ケア指導マニュアル～アセスメントを活用した指導要綱～」	『平成23年度静岡県障害者施設歯科保健指導事業報告書』2012年3月	共著
	「多方位口唇閉鎖力は測定部を保持して測定できるか？」	『日本顎口腔機能学会雑誌』（発表抄録）p.16-17 2012年4月	共著
	「介護老人福祉施設入居者におけるインプラント加療の実態と口腔ケアにおける問題点」	『口腔衛生学会雑誌』（発表抄録）vol.62(2) p.234 2012年5月	共著
	「“9020”があたりまえ!?超・超高齢社会目前の日本と歯科」	月刊『歯科衛生士』（雑誌論文）クインテッセンス出版 Vol.36 (5) p.65-68 2012年5月	単著
	「介護予防がもたらすもの、そして歯科衛生士のかかわりとは？」	月刊『歯科衛生士』（雑誌論文）クインテッセンス出版 Vol.36 (6) p.78-81 2012年6月	単著
	「専門性のより高い認定歯科衛生士の役割と意義」	月刊『歯科衛生士』（雑誌論文）クインテッセンス出版 Vol.36 (7) p.78-81 2012年7月	単著
	「歯科口腔保健法への歯科衛生士のかかわりかた」	月刊『歯科衛生士』（雑誌論文）クインテッセンス出版 Vol.36 (8) p.86-89 2012年8月	単著
	「静岡県歯科衛生士会主催研修『育成コース（口腔機能維持管理加算）』の企画実施報告」	『日本歯科衛生学会雑誌』（発表抄録）vol.7(1) p.129 2012年8月	共著
	「静岡県歯科衛生士会主催研修『育成コース（口腔機能維持管理加算）』の参加報告」	『日本歯科衛生学会雑誌』（発表抄録）vol.7(1) p.130 2012年8月	共著
	「静岡県歯科衛生士会における施設実践実習型研修会での講師育成の取り組み」	『日本歯科衛生学会雑誌』（発表抄録）vol.7(1) p.132 2012年8月	共著
	「静岡県歯科衛生士会における障がい者施設の口腔ケア意識を促進するためのマニュアル作成の取り組み」	『日本歯科衛生学会雑誌』（発表抄録）vol.7(1) p.131 2012年8月	共著
	「病院歯科における世界糖尿病デーにちなんだ院内イベントの実施報告」	『日本歯科衛生学会雑誌』（発表抄録）vol.7(1) p.238 2012年8月	共著
	「静岡県歯科衛生士会における公開ICT防災訓練野実施報告」	『日本歯科衛生学会雑誌』（発表抄録）vol.7(1) p.154 2012年8月	共著
「臨床実習における口腔内バキューム操作の現状と課題」	『日本歯科衛生学会雑誌』（発表抄録）vol.7(1) p.162 2012年8月	共著	
「介護老人福祉施設における口腔ケアの実態-インプラント治療が施されている入居者への対応および口腔ケアの問題点の抽出-」	『老年歯科医学』（調査報告論文／査読有）vol.27(2) p.104-113 2012年9月	共著	

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月等	備考
森野 智子	「現在歯を有する要介護高齢者における嚥下機能の低下と口腔衛生状態との関連性」	『口腔衛生学会雑誌』（調査報告論文/査読有）vol.62 (5) p.478-483 2012年10月	共著
	「歯科受療時における患者のポジショニング介助法に関する検討」	『日本公衆衛生雑誌』（発表抄録）vol.59(10) p.449 2012年10月	共著
	「インプラント治療が施されている要介護患者の口腔ケアの実態」	『日本歯科医師会雑誌』（発表抄録）vol.65(5) p.648 2012年8月	共著
	「多職種連携・訪問歯科のために 歯科衛生士がとっておきたいこの資格」	月刊『歯科衛生士』（企画資料）クインテッセンス出版 Vol.36p.68-73 2012年12月	共著
山本 智美	「歯科医院における歯科衛生士の実施する感染予防対策の現状と今後の課題」	『日本歯科衛生学会雑誌』, Vol.7 No.1, p.190 2012年8月	共著
	「臨地実習における口腔内バキューム操作の現状と課題」	『日本歯科衛生学会雑誌』, Vol.7 No.1, p.162 2012年8月	共著
	「歯科受療時における患者のポジショニング介助法に関する検討」	『日本公衆衛生学会雑誌』, 第59巻・第10号 特別附録, p.449, 2012年10月	共著

社会福祉学科

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月等	備考
漁田 俊子	“Effects of same- and different-context repetitions of video contexts on paired associate learning.”	<i>10th Tsukuba International Conference on Memory.</i> (2012年3月)	共著
	“Effects of incidental of photographs as background of letters on context-dependent effects in recognition discrimination.”	<i>10th Tsukuba International Conference on Memory.</i> (2012年3月)	共著
	“Consistency of scale choice between nursery school children and their teachers and parents while using facial expression stickers developed to improve young children’s daily routines.”	<i>The Asian Journal of Child Care</i> , 3, p.19-28. (2012年3月)	共著
	「楽曲のテンポ変化がBGM文脈依存再生におよぼす影響」	『日本認知心理学会第10回大会発表論文集』 p.82. (2012年5月)	共著
	「自由再生におけるビデオ文脈依存効果が学習時間効果におよぼす影響」	『日本認知心理学会第10回大会発表論文集』 p.84. (2012年5月)	共著
	「自由再生における場所文脈依存効果におよぼす学習時間の影響」	『日本心理学会第76回大会発表論文集』 p.767. (2012年9月)	共著

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月等	備考
漁田俊子	“Effects of study time and meaningfulness on environmental context-dependent recognition.”	<i>Memory & Cognition</i> , 40(8), p.1225-1235 (2012年12月)	共著
木林身江子	「歯科治療時における患者のポジショニング介助法に関する検討」	『日本公衆衛生雑誌 - 第71回日本公衆衛生学会総会抄録集 -』Vol.59 No.10 p.449 2012年10月	共著
	「ポジショニングの実践を分析するアクションリサーチ」	『第20回日本介護福祉学会大会発表報告要旨集』p.97 2012年9月	単著
佐々木隆志	「静岡県内における介護職・求人と求職の社会的考察」	USフォーラム2012 ポスター発表(静岡県立大学短期大学部), p.120 平成24年9月25, 26日	共著
	「第21回イギリスにおける相談援助専門職」	相澤譲治、杉本敏夫編『第3版 相談援助の基盤と専門職』久美出版 p.194-203 2012年4月	共著
鈴木俊文	「マイクロエスノグラフィック手法-災害エスノグラフィーを書く-」	『質的研究のショーケース』(日本福祉大学院質的研究会・日本福祉大学福祉社会開発研究所) p.69-93 2012年1月	単著
	「認知症の理解」	『介護福祉士国試受験一発合格』(保育社) 2012年5月	単著
	「介護職員の暗黙知によるアセスメントの記述的研究「だいたい目安」のevidence・narrative」	『日本認知症ケア学会誌』2012 Vol.11-1 p.210 2012年4月	単著
	「新潟県中越地震における身体障害者入所施設 施設『災害過程』の分析」	『第19回日本介護福祉教育学会プログラム・発表要旨集』p.160-161 2012年9月	共著
	「大地震で被災した入所型介護施設における『災害過程』の記述的研究-マトリックス分析による概念モデルの検討-」	第60回日本社会福祉学会報告要旨集 https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/abstract_open/JSSSW 2012年10月	共著
立花明彦	「視覚障害のある人びとと映像情報」	『情報障害者と支援者の学び合いの場づくり事業報告書(平成23年度独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業 全国的・広域的ネットワーク活動支援事業)』(特定非営利活動法人シーエス障害者放送統一機構) p.55-58 2012年3月	単著
	「新潟県中越地震における身体障害者入所施設 施設『災害過程』の分析」	『第19回日本介護福祉教育学会プログラム・発表要旨集』 p.160-161 2012年9月	共著
	「大地震で被災した入所型介護施設における『災害過程』の記述的研究-マトリックス分析による概念モデルの検討-」	日本社会福祉学会第60回秋季大会報告要旨集 https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/abstract_open/JSSSW 2012年10月	共著

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月等	備考
中澤 秀一	『これだけは必要だ！静岡県の最低生計費』	本の泉社 2012年2月	共著
	「若者の就職前後における労働組合イメージの変化」	『労働総研クォーター』（労働運動総合研究所）No.86 p.62-67 2012年5月	共著
	「賃金と社会保障の関係－フランスが示唆するもの－」	『月刊全労連』（学習の友社）No.184 p.1-10 2012年6月	単著
	「社会保障政策」	『日本労働年鑑』（旬報社）第82集 p.387-398 2012年6月	単著
庭野 晃子	「夫婦の勢力関係をめぐる客観的現実と主観的判断の不一致にかんする考察」	『都留文科大学研究紀要』第75集（77-90）、2012年3月、都留文科大学	単著
	「文献紹介 中村英代著 『摂食障害の語り〈回復〉の臨床社会学』 新曜社（2011年）」	『Sociology Today』第20号、2012年、 お茶の水社会学研究会	単著
	「父親の育児に関する研究」	静岡家族問題研究会 2012年11月	単著
松平 千佳	「ホスピタル・プレイ・スペシャリストによる脊髄性筋萎縮症児への在宅支援」	月刊『訪問看護と介護』17(3), p.240-245. 2012年3月	共著
	“The Beginning of Hospital Play in Japan - Looking back these five years what we have achieved - ”	<i>The 26th International Council for Children's Play World Play Conference.</i> 2012年6月	共著
	“Play and development - A Japanese Perspective”	<i>Nottingham Children's Hospital Conference.</i> 2012年10月	共著
	「プレイ・プレパレーションとは何か－子どもが必要とするプレパレーション（1）－」	『日本医療保育学会第16回大会』（東京）2012年6月	共著
	「プレイ・プレパレーションとは何か－子どもが必要とするプレパレーション（2）－」	『日本医療保育学会第16回大会』（東京）2012年6月	共著
	「平成23年度大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム事業成果報告書「体系的なHPS養成教育プログラムの開発」	『静岡県立大学短期大学部 平成23年度大学教育推進プログラム事業成果報告書』2012年6月	共著
「ホスピタル・プレイ・スペシャリストの実践を学ぶ 看護師ができる！アドバンスドプレパレーション 日常の遊び・治療的な遊び」	『こどもケア』 p3-7 日総研出版 2012年4月 連載第3回	単著	

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月等	備考
松平千佳	「Hospital Play Specialist の役割と歯科治療を受ける子どもの情緒的な準備に必要な視点」	『小児歯科臨床』2012年3月号 p.69-75 東京臨床出版 2012年3月	単著
	「平成23年度ホスピタル・プレイ・スペシャリスト事業報告」	『静岡県立大学 はばたき』No.120 2012年6月	共著
	「ホスピタル・プレイ・スペシャリストの実践を学ぶ 看護師ができる！アドバンスドプレパレーション デストラクション・セラピーの意義と方法」	『こどもケア』7(2) p1-5 日総研出版 2012年6月 連載第4回	単著
	「ホスピタル・プレイ・スペシャリストの実践を学ぶ 看護師ができる！アドバンスドプレパレーション 術後、処置後の遊び」	『こどもケア』7(3) p1-3 日総研出版 2012年8月 連載第5回	単著
	「ホスピタル・プレイ・スペシャリストの実践を学ぶ 看護師ができる！アドバンスドプレパレーション 遊びを用いた個別支援」	『こどもケア』7(4) p1-5 日総研出版 2012年10月 連載第6回	単著
「領域別・分野別プレイ・プレパレーション実践レクチャールーム プレイ・プレパレーションにおける子どもの療養環境」	『こどもケア』7(5) p1-8 日総研出版 2012年12月	単著	

平成 24 年度：外部資金採択一覧

■科学研究費補助金等

<新規>

種目	研究者区分	所属・職名	氏名	研究課題	配分額
厚生労働省受託事業・災害対応医療班	研究協力員	歯科衛生学科・教授	藤原 愛子	大規模災害時の歯科保健医療提供体制の構築	40,000
挑戦の萌芽研究	研究分担者	看護学科・准教授	増田 明美	施設で働く介護職のスキル向上プログラムの開発 - 認知症高齢者に焦点を当てて -	20,000
基盤研究 (C)	研究分担者	看護学科・准教授	増田 明美	新たな子宮頸がん予防対策モデルの構築	100,000
基盤研究 (C)	研究分担者	歯科衛生学科・講師	森野 智子	パーキンソン病高齢者の家族介護者を中心とした在宅療養生活支援プログラムの開発	569,000
基盤研究 (C)	研究代表者 研究分担者 ク	社会福祉学科・講師 社会福祉学科・准教授 社会福祉学科・講師	鈴木 俊文 立花 明彦 濱口 晋	介護施設における「災害過程」対応教材・研修プログラムの開発	700,000

<継続>

種目	研究者区分	所属・職名	氏名	研究課題	配分額
若手研究 (B)	研究代表者	一般教育等・講師	垣口 由香	ベケット文学における「歓待」	910,000
基盤研究 (C)	研究代表者	社会福祉学科・教授	佐々木隆志	介護老人福祉施設における終末ケア全国実態調査研究	1,040,000
基盤研究 (C)	研究代表者	社会福祉学科・教授	漁田 俊子	自由再生において単純および複合環境情報が引き起こす文脈依存効果の実証的比較研究	700,000
基盤研究 (C)	研究代表者	社会福祉学科・教授	三富 道子	イギリスの認知症ケアの職業資格と訓練効果に関する研究	800,000
基盤研究 (C)	研究代表者	社会福祉学科・准教授	松平 千佳	子どもにやさしい医療を創造するためのホスピタル・プレイに関する研究	1,690,000
基盤研究 (C)	研究分担者	社会福祉学科・教授	漁田 俊子	再認における環境的文脈依存効果の再検討：複合場所文脈と様々な環境情報との比較	200,000
基盤研究 (C)	研究分担者	一般教育等・准教授	内藤 初枝	低出生体重児の増加および母体の体重増加に及ぼす妊婦の栄養状態に関する縦断的研究	200,000

■その他の研究助成

研究者区分	所属・職名	氏名	研究助成者	研究課題	助成金額
研究代表者	看護学科・助教	影山 葉子	公益財団法人 トヨタ財団	看護ケアからみえる 家族の代替可能性 (平成22年11月～平成24年10月まで)	2,400,000
研究代表者	歯科衛生学科・准教授	木林美由紀	株式会社 白帆タンパク	産学共同研究委託事業 液体蒟蒻を応用した咀嚼 効果のある豆乳・お からドーナツの研究開発 平成24年8月1日～平成25年2月28日	300,000
研究代表者	看護学科・教授	古賀 震	公益財団法人 SBS静岡増進セ ンター理事長	生活習慣病（特に循環 器疾患、脳血管障害およ び骨粗鬆症による骨折） の発症予防に関する研究	500,000

■奨学寄付金

研究者区分	所属・職名	氏名	寄付申込者	研究課題	寄付金額
奨学寄附金	看護学科・教授	古賀 震	公益財団法人 SBS静岡増進セ ンター理事長	検査データと臓器障害 の病態解析に関する研 究	765,000

静岡県立大学短期大学部研究紀要に関する細則

平成 21 年 7 月 1 日 細則第 40 号

改正 平成 23 年 1 月 11 日

(目的)

第 1 条 本学における学術研究（調査などを含む。）の成果を発表するために、静岡県立大学短期大学部研究紀要（以下「紀要」という。）を刊行する。

(原稿の種別)

第 2 条 紀要に掲載する研究成果は、次のものとする。

- (1) 未発表（口頭発表を除く。）の研究論文、調査報告、短報など
- (2) 総説、資料など
- (3) 発行年度 12 月末までの 1 年間の研究成果で、紀要以外に発表したものの一覧
- (4) その他図書館・紀要委員会（以下「委員会」という。）が掲載の必要を認めたもの

(投稿者の資格)

第 3 条 紀要に研究成果を発表する資格を有する者は、次の者とする。ただし、本学専任教員との共同執筆の場合はこの限りではない。

- (1) 本学の専任教員
- (2) その他委員会で認められた者

(刊行)

第 4 条 紀要は、原則として冊子号、Web 号の各号を毎年度 1 回、3 月末日までに刊行する。

(原稿の作成)

第 5 条 原稿は、別に定める執筆要領を基本として作成する。

- (1) 冊子号の原稿提出にあたっては、原稿本文に原稿を保存した電子媒体を添付する。Web 号原稿は、PDF ファイル形式で提出する。
- (2) 委員会は、執筆者に原稿の加除修正を求めることができる。

(原稿の受理)

第 6 条 紀要の原稿の受理は、次のとおりとする。

- (1) 原稿の受理は、図書館・紀要委員長が総括する。
- (2) 受理日付を記載する。
- (3) 締切り月日は、委員会の指定する日とし、同日より後の受理原稿は、次年度に掲載する。
- (4) Web 号の原稿は、完成された投稿原稿のみを受理する。

(編集)

第 7 条 冊子号の編集は、次のとおりとする。

- (1) 原稿の掲載順は、代表著者の所属学科により、次の順とする。
①一般教育等 ②看護学科 ③歯科衛生学科 ④社会福祉学科 ⑤年度内業績一覧
ただし縦組みの分は、別に一括し、その中で上記の順による。
- (2) 各学科等のなかの掲載順は、代表著者氏名の 50 音順とする。
- (3) 校正は、原則として執筆者が行う。
- (4) 印刷部数は、発行の都度必要に応じて委員会で決定する。

2 Web号紀要の原稿の掲載順は、原稿受理日順とする。

(配布)

第8条 冊子号の配布は次のとおりとする。

(1) 贈与

次の者に、紀要の本冊ないし抜き刷りを贈与する。

①執筆者 本冊1部、抜き刷り50部

②本学専任教員 本冊1部

③その他紀要委員会で認めた者

(2) 交換

内外の諸研究機関と紀要、研究誌の交換を行う。

(3) 頒布

①頒布希望者には、部数に余裕のある場合に限り、本冊を頒布する。

②論文執筆者が、本条(1)の①を超えて本冊又は抜き刷りをあらかじめ請求するときは、実費を本人負担のうえで増刷する。

(保管)

第9条 紀要の保管は、図書館で行う。

(倫理的配慮)

第10条 人及び動物を対象とした研究については、倫理的に配慮した旨を本文中に明記しなければならない。

(著作権)

第11条 掲載論文の著作権は、著者に帰属する。ただし、著者は、静岡県立大学短期大学部が投稿論文を印刷物として発行し、Web上で公開することを許諾する。

附 則

(施行期日)

1 この細則は、平成21年7月1日から施行する。

(静岡県立大学短期大学部研究紀要規程に関する細則の廃止)

2 静岡県立大学短期大学部研究紀要規程に関する細則(平成19年4月1日細則第53号)は、廃止する。

附 則

この細則は、平成23年1月11日から施行する。

編集方針

「静岡県立大学短期大学部研究紀要に関する細則」に準拠して【研究紀要】を編集した。

静岡県立大学短期大学部研究紀要 第26号 (2012年)

2013年3月25日発行

発行：静岡県立大学短期大学部

〒422-8021 静岡県静岡市駿河区小鹿2丁目2番地1号

(電話) 054-202-2600 (代表)

(電話) 054-202-2617 (附属図書館)

(FAX) 054-202-2620 (附属図書館)

編集：図書館・紀要委員会

委員長 有泉 祐吾 (歯科衛生学科)

委員 林 恵嗣 (一般教育等)

委員 鈴木 琴江 (看護学科)

委員 鈴木 温子 (歯科衛生学科)

委員 三田 英二 (社会福祉学科)

印刷所：創文社印刷株式会社

〒420-0812 静岡県静岡市葵区古庄2丁目7番16号

(電話) 054-265-0870

(FAX) 054-265-2180